



山  
崩  
飼  
立  
世  
孫  
法

全



114  
A 3819



伺之様の事

大正十一年四月  
限侯爵郵寄贈

種々金器より薄くあらぐを虫出する也其上  
 摺の新芽を掩ふ自ら夫を梅又新芽の技之面  
 五掩し新芽を掩ふ自ら夫を梅也  
 鳥の羽柄をそりし後より毛虫の穴を要し  
 せきれ、痛子居るなり我類を利する事あり  
 うふハ又子より扱旦梅式砂子等を焼く事  
 しばしつく可扱く事あり

一 養飼内飼池飼溝飼山飼河飼飼家の内  
こく飼まろへ是虫細く崩れ少ク腐きへ色、黄じて  
糸も細く弱し養飼池飼溝飼河飼飼崩れ弱く  
して太く糸強し山飼、砂中糸太く強し  
一 養飼を竹養了荒養了四方と圍蓋養、  
目荒がよし目浩りの養、橋まじの出来る様  
致し三度目休近、再び又空曇る日、竹養  
と川拂地の糸を拂し

一 養飼の内、桶を推き水を入新芽の枝を  
立る其水溢念入木の養物、之塞き、於てこれ  
虫降あり言入く死する事多し  
一 日産よりし余、之をまはめしく殊、成亥の風を  
養入  
一 養飼圍を新芽のいろくの産虫を誘く多免な  
れ、其の内、一也又蓋の養、四度休、これ大風  
雨、と降き、養了り紙し

飼立処 風の申り少り言木の下りし 胡椒餅  
松松橋の敷苦さみくつる木の下あしく厚ぬり  
少き木の下りく飼立りし

飼系立るの時 例の角一羽系を立虫の付店  
古教を立接る 二時才りく移る尤休ま多  
移るバ移るある時 鉄こ小技をやり羽系系  
る心一所不可  
一及休近 家内く飼立休み返る後貰圖の

内り出ハらる

一生長する子 随貰の内桶 移ハ又挿教もお意

り増し

一 天気出牙午時八時近 三反才も飼系ハ平  
水を器の様ハ吹いて接るし又飼系枯立様  
水を毎日そし 加五日目斗水と琴折あり

一 虫生して八日目ハ休 始め飼系を喰バ一七日を返  
食又一七日休 都右 爰の休凡六十日余りし

蘭らんとをるを之を玉たまくくのの室むろ後ご乃なりとと少すくししとと後ご急きふ何なに  
るあるとと知し下した  
室後乃と少しと後急何

一 内うち伺かひ捕とらのの後ご用もち扱あつかのの立たりり其その外ほか交まじ同ひとし尤もつと天てん氣き  
水みづをを吹ふけけららりり及およびび有ありり  
吹けらり及び有

一 池いけ伺かひ池いけ上うへ之の木き木きとと以もつて床とことと組くみ延のび可べりり之の床とこのの初はつめめ  
木きのの扱あつかをを水みづにに括くさりり伺かひ之の尤もつとおお増ま減げつつ池いけ也なり  
氏うぢとと組くみ亦また伺かひ採とりり伺かひ口くち中ちゆうににもも交まじ宛あつルる水みづをを吹ふけけしし  
採り伺口中も交宛ル水を吹

一 溝みぞ伺かひ山やま谷やのの日ひ屋やのの所ところ横よこをを人ひと俵はたけをを人ひと置おすす  
位ゐのの溝みぞとと掘ほりり其その中ちゆうにに組くみのの紐ひもをを入いれれ上うりり延のびびとと復かへ水みづ  
とと汲くみみ入いれれ伺かひ系けいのの木きをを地ちにに少すくしし掘ほりり今いま立たちち上うりり新あらた扱あつか  
立たちち上うりり亦また伺かひ同ひとし溝みぞ毎まい日ひ水みづをを入いれれしし日ひ屋やにに水みづ  
とと吹ふききもも不ふ及およびび有ありり  
吹きも不及有

一 山やま伺かひ立たちち木き上うりり虫むしとと白しろくく伺かひ掘ほりり高たかきき丈だけ余あ幅はた五ご尺せき置おすす  
斗とりり一ひとしし紫むらさ花はな多おほくくもも虫むし殺ころすす百ひゃく五ご拾しゅうりり斗とりり附つくく  
也なり  
紫花多くも虫殺す百五拾り斗り附

一 一度休止の家の中へ伺立後木に付るし  
 一 嵐或機嫌百足性弱と隣りし機嫌防子ん  
 木葉をせん木根を又多そち木根  
 まち付てりし

一 多防ざち多子を接する所  
 一 鳴るゆへ貝多りしうへへ一麝香其外葉  
 の匂を焼

一 臭狐多を焼ゆへに且烟り等を焼

一 塩子又土砂の取と様列

○飼養に用る木の事

一 冬返子 一 切子 一 唇をし

一 撮 一 推

右に取する木より係飼養より樹を系よ言向く扇の  
 大小をあるとあるへし

○口傳

一 立木伺木そ外扇を中集り尤くし然るを  
 人よと不覺しそ輕易に五集仕法の手

一 取砂（のり）し 扇（あし）標（しるし）あり 地（ち）の山（やま）に 移（うつ）り 暑（あつ）し 夫（おつ）と 移（うつ）す 此（こゝ）は 標（しるし）の 事（こと）

一 移（うつ）す 子（こ）と 多（おほ）く 生（な）ず 方（かた）の 方（かた） 一 移（うつ）す 子（こ） 芝（しば） 向（むか）く 見（み） 標（しるし） 事（こと）

○ 扇（あし）と 取（と）り 入（い）る 事（こと）

一 扇（あし） 携（たづ） ち 免（ま） 五（ご）口（くち） 通（と） 外（ほか） 白（しろ） 移（うつ） と 吹（ふ） 出（で） 爪（つめ） 事（こと）

携（たづ） せ 日（ひ） 多（おほ） 入（い）る 存（ぞん） 内（うち） の 差（さ） 別（べつ） る 繩（なわ） と 張（は） 金（かね）

技（わざ） 共（とも） 鉄（てつ） 切（き） 取（と） り 十（じゅう） 程（ほど） 携（たづ） 至（いた） 後（のち） 糸（いと） と 除（のぞ） 一（ひと） ツ 完（くわん） 事（こと）

至（いた） 畑（はたけ） 取（と） り 多（おほ） 入（い）る 又（また） 爪（つめ） 其（その） 外（ほか） の 魔（ま） 虫（むし） 取（と） り 用（もち） 事（こと）

す 一（ひと） 所（ところ） 積（つ） 重（かさ） 三（さん） 五（ご） 口（くち） 標（しるし） 不（ふ） 出（で） 糸（いと） と 取（と） り 入（い）る

○ 種（たね） の 事（こと）

一 扇（あし） 携（たづ） 始（はじめ） 三（さん） 七（しち） 口（くち） 位（い） 一（ひと） 標（しるし） 出（で） る 秋（あき） 彼（か） 存（ぞん） の 頃（ころ）

ま へ へ 出（い） 出（で） る 故（ゆゑ）

一 扇（あし） 携（たづ） 取（と） り 内（うち） の 内（うち） 至（いた） 是（こゝ） 標（しるし） の 飛（と） 去（き） 此（こゝ） 標（しるし） 之（こゝ） 事（こと）

朝（あ） 五（ご） ツ 時（とき） 比（ひ） 列（れつ） 出（い） 出（で） る 事（こと）

一 亦（また） 扇（あし） 携（たづ） 取（と） り 横（よこ） 三（さん） 寸（すん） 位（い） 一（ひと） 標（しるし） 出（で） る 故（ゆゑ）

一 雌（メ） 雄（オ） の 標（しるし） と 等（ひと） 多（おほ） 入（い）る 一（ひと） 入（い）る 層（かさ） 小（こ） 扇（あし） 取（と） り 入（い）る

物所、至四五日、底ぬると、砥除其対雄標  
飛去雄標、砂るへ又元のぬく底とメミヤ推  
産み付るへ

一日の百、一日、三四度、お吹を、用凡リ、紋十、  
標免其対、新、産、附、多、推、  
切、日、申、れ、推、く、心、出、  
一、種、を、取、目、の、布、を、三、寸、角、斗、の、袋、を、  
夫、二、千、程、入、涼、夏、風、の、着、る、北、窓、の、

端、釣、を、  
一、日、着、り、且、烟、經、り、の、変、不、宜、屏、の、用、心、一、也、  
一、空、暖、玉、の、遠、く、十、二、月、前、か、近、風、さ、し、  
一、前、が、入、紙、封、し、糸、の、洩、は、推、  
古、強、く、扱、て、包、又、箱、入、率、探、遠、を、  
一、立、春、後、二、千、位、か、表、と、切、前、の、飼、立、推、  
一、七、圖、を、七、お、ゆ、推、を、圖、事、の、有、  
一、部、を、一、お、入、通、り、の、内、が、  
一、七、圖、を、七、お、ゆ、推、を、圖、事、の、有、

一、日、着、り、且、烟、經、り、の、変、不、宜、屏、の、用、心、一、也、  
一、空、暖、玉、の、遠、く、十、二、月、前、か、近、風、さ、し、  
一、前、が、入、紙、封、し、糸、の、洩、は、推、  
古、強、く、扱、て、包、又、箱、入、率、探、遠、を、  
一、立、春、後、二、千、位、か、表、と、切、前、の、飼、立、推、  
一、七、圖、を、七、お、ゆ、推、を、圖、事、の、有、  
一、部、を、一、お、入、通、り、の、内、が、  
一、七、圖、を、七、お、ゆ、推、を、圖、事、の、有、





一 蝶の出る 疎も 蕎麦の 向く七 位 漬玉 漬物  
 一 能く 後川 出ス 之 綿 掛る 与 ありし  
 一 系と 深る 祈り かく 青 葉の 向く 之 秋 彼  
 一 字 あり 外 あり 葉の あり 也

一 系と なる へ 扇 蝶の出 出 扱 天 一 七 月 干  
 一 又 系 挿 入 葉 也 空 之 葉 扱 扱 の 系 系  
 一 挿 入 葉 也 扇 之 あり 一 又 系 系 扱 扱 の 系 系  
 一 凡 三 十 抄 百 程 並 之  
 二十抄 並 之

但し 葉 多 扇 日 之 葉 干 粉 ス 干 搥 蘭  
 一 物 一 葉 之 葉 也 酢 の 借 り 多 布 之 出 之 葉  
 干 之 也

○ 玉来 扇 の 積 の 事

一 五 木 伺 十 分 六 七 減 換 ス 一 溝 伺 池 伺 十 分  
 一 五 成 減 換 ス  
 一 貴 伺 十 分 四 成 減 換 ス 太 年 其 山 河 一 只  
 一 蘭 掛 目 山 伺 内 虫 之 去 一 三 分 八 分 近 池 伺 養  
 伺 伺 下 之 葉 下 近 内 伺 之 葉 下 五 層 七 八 層 也

一 種子と取<sup>とる</sup>貴<sup>い</sup>飼<sup>い</sup>ニあるハ巾糸と取<sup>とる</sup>立<sup>た</sup>飼<sup>い</sup>ト云<sup>い</sup>  
一 内<sup>うち</sup>飼<sup>い</sup>貴<sup>い</sup>飼<sup>い</sup>ニ人<sup>ひと</sup>ニて凡<sup>おおよそ</sup>爾<sup>それ</sup>ハ多<sup>おほく</sup>五<sup>ご</sup>千<sup>せん</sup>粒<sup>つぶ</sup>池<sup>いけ</sup>溝<sup>ぼり</sup>飼<sup>い</sup>ト云<sup>い</sup>  
一 立<sup>た</sup>木<sup>き</sup>飼<sup>い</sup>ニ人<sup>ひと</sup>ニて凡<sup>おおよそ</sup>五<sup>ご</sup>多<sup>おほく</sup>ツ  
一 内<sup>うち</sup>飼<sup>い</sup>科<sup>か</sup>の立<sup>た</sup>木<sup>き</sup>把<sup>つか</sup>地<sup>ぢ</sup>三<sup>さん</sup>反<sup>へん</sup>瘠<sup>しやく</sup>地<sup>ぢ</sup>五<sup>ご</sup>反<sup>へん</sup>ニて張<sup>はり</sup>糸<sup>いと</sup>スレハ約<sup>おおよそ</sup>言<sup>い</sup>凡<sup>おおよそ</sup>半<sup>はん</sup>ニ後<sup>のち</sup>右<sup>みぎ</sup>余<sup>あま</sup>何<sup>なん</sup>バシ

